

第1日 6月5日(土)

午前の部(10:00-12:25) (研究発表 30分 質疑応答 15分)

研究発表

- ① 西井 奨(京都大学大学院) (10:00-10:45)
オウィディウス『名高き女たちの手紙』第13歌におけるラーオダメイア
- ② 長尾美里(南山大学人類学博物館学芸員) (10:50-11:35)
ペロポネソス戦争期アテナイの聖域管理と建設活動
ーデロス島アポロン聖域を中心にー
- ③ 藤田大雪(大阪体育大学非常勤講師) (11:40-12:25)
プラトン『パイドン』におけるアイディアーの概念について

※JASCA 編集委員会

午後の部(2:00-5:00)

- ④ 玉垣あゆ(名古屋大学博士研究員) (2:00-2:45)
誇り高き妻 ーセネカのメデア像
- ⑤ 藤井 崇(チューリヒ大学研究員) (2:50-3:35)
キプロス島におけるローマ皇帝崇拝
ーティベリウス帝への宣誓儀礼を中心にー

Oliver Taplin 教授特別講演会 (3:50-5:00)

The variety of the reflections of Greek Tragedy in vase-paintings

※懇親会(6:00-) 於、セントコア山口
(会費 5000円 学部・大学院生 3000円)

(付記 委員会は6月4日午後5時より、大学会館1F 第一集会室にて行います)

第2日 6月6日(日)

午前の部(9:30-12:20)

研究発表

- ⑥ 伊藤雅之(東京大学大学院) (9:30-10:15)
ロドスとペルガモンの提携と第二次マケドニア戦争—ロドスと
ペルガモンによる対マケドニア戦とエジプト分割協定への問い—
- ⑦ 佐野好則(国際基督教大学上級准教授) (10:20-11:05)
『イーリアス』第11巻におけるネストールの物語

※総会(11:05-11:35)

- ⑧ 奥田和夫(法政大学教授) (11:40-12:25)
哲人王の行方

※書評委員会

午後の部(2:00-5:15)

- ⑨ 志内一興(上智大学非常勤講師) (2:00-2:45)
バース出土の「呪詛板」文書—司法と宗教のはざままで
- ⑩ 相澤康隆(東京大学大学院) (2:50-3:35)
'*parousés ginetai to pathos*'の解釈をめぐって
—『ニコマコス倫理学』第7巻第3章 1147b15-17—
- ⑪ 戸田 聡(一橋大学特任講師) (3:40-4:25)
バルダイサンと古代占星術
- ⑫ 内田次信(大阪大学教授) (4:30-5:15)
帰還(ノストイ)の文学としてのピロストラトス『ヘーローイコス』

※編集委員会(5:30—)